

発表日時：平成28年9月 8日（木）14時（資料配布）

解禁日時：平成28年9月 9日（金） 0時

公益社団法人 日本測量協会

平成 28 年度「空間情報総括監理技術者」

資格認定試験(第 12 回)に 21 名が合格

公益社団法人日本測量協会（会長 ^{やぐち} ^{あきら} 矢口 彰）は、平成 28 年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の合格者を発表します。

今年度で合格者は 297 名になります。

本試験の結果は別紙 1.2 のとおりです。

○その他参考資料

資料 1 「空間情報総括監理技術者」資格について

資料 2 「空間情報総括監理技術者」認定試験の実施について

資料 3 「年度別合格者一覧」

資料 4 「登録対象の測量技術者資格」

○参考： ホームページ「空間情報総括監理技術者のページ」

<http://www.jsurvey.jp/gissv/gissv.htm>

（問い合わせ先）

公益社団法人 日本測量協会 〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18 白山NTビル
測量継続教育センター 測量技術教育部長 土井弘充 電話 03-5684-3357
小林俊雄

平成 28 年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の結果

公益社団法人日本測量協会は、国土管理の業務を効果的に遂行するため、空間情報分野の高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、空間情報を利活用するための製品・品質仕様の策定、運用管理の立案を行うに十分な能力を有する技術者を認定する空間情報技術委員会（現委員長 東京大学大学院 教授 清水英範^{しみず えいはん}）を設置し平成 28 年度の「空間情報総括監理技術者」資格認定試験を実施しました。

平成 28 年度認定試験には 87 名の応募があり、書類審査の結果、81 名が筆記試験を受験（当日 4 名欠席）しました。

筆記試験（7 月 23 日（土）に実施）に合格し、かつ、面接試験（9 月 3 日（土）に実施）にも合格した最終の合格者は 21 名であり、17 年から 27 年の合格者を合せると 297 名になります。

合格者は登録を済ませると、日本測量協会の「地理空間情報専門技術者」の上位クラスの技術者として、日本測量協会会長が認定します。

本資格の有効期間は 5 年で、資格の更新には、「測量技術者継続教育証明制度（測量 CPD）」の所定の CPD ポイントの取得が条件となります。

※平成 28 年 6 月末現在の測量 CPD 登録者数 20,000 人

公益社団法人日本測量協会は、空間情報技術に関する各種提案型入札業務の指名の際に、この「空間情報総括監理技術者」が活用されるよう関係機関に働きかけておりますが、これまでに、国土地理院の入札、一般財団法人日本建設情報総合センターの入札、地方公共団体の都市計画図作成業務委託や道路台帳整備業務において当該有資格者が管理技術者等として活用されております。また、平成 23 年度には国土地理院から「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格」として空間情報総括監理技術者が登録されました。

今後、ますます地理空間情報活用推進基本法の関連業務に適合する資格として、各種の空間情報整備事業においても更なる活用が期待されています。

〈筆記試験問題〉

平成 20 年度から公表している空間情報総括監理技術者資格認定の筆記試験問題は、今年度は平成 25 年度（第 9 回）に行われた筆記試験問題を公表します。

◆ 合格者	21 名
◆ 合格率 (対・応募者数)	24.1%
" (対・受験者数)	27.2%

合格者氏名

受験番号	氏 名	受験番号	氏 名
16-006	黒澤章太郎	16-037	中島彰男
16-007	横田宏行	16-038	内川勉
16-008	南口洋國	16-039	高木章史
16-010	最相知也	16-042	今西実
16-011	太井史朗	16-044	松下純一
16-018	滝沢巖	16-049	角田里美
16-024	吉田恵勝	16-053	原島克則
16-027	遠藤浩二	16-055	伊藤友和
16-031	中津好徳	16-062	川村義和
16-032	清宮奈美	16-064	中澤明寛
16-034	早川洋子		

1. 応募者 87 名
 この内、
 書類審査による受験資格の条件を満たした者 81 名
 受験資格の条件を満たさなかった者 6 名
2. 筆記試験 (7 月 23 日 (土) 実施)
 受験資格者 81 名
 受験者 77 名 (棄権者 4 名)
 合格者 21 名
3. 面接試験 (9 月 3 日 (土) 実施)
 受験資格者 21 名
 受験者 21 名
 合格者 21 名

「空間情報総括監理技術者」資格について

公益社団法人日本測量協会

公益社団法人日本測量協会は、従前の測量専門技術認定（平成 21 年度から地理空間情報専門技術者に名称変更）に加え、平成 17 年度に「空間情報総括監理技術者」資格を創設しました。

「空間情報総括監理技術者」の資格は、測量の技術領域が空間位置と関係づけられた様々な情報を扱う技術へと発展し、また、利用される領域が国土から社会生活に至るまでの広がりを見せていることを背景にして、空間情報の関連事業の企画・提案・監理の能力を有する技術者を認定するための制度です。

「空間情報総括監理技術者」の有資格者は、日本測量協会の「地理空間情報専門技術者」のさらに上位のクラスの技術者として日本測量協会会長が認定します。

認定された「空間情報総括監理技術者」は地理空間情報分野の高度な技術が求められる計画（調査）・解析、技術監理等の技術的な役割を担う技術者です。

1. 資格制度の目的

地物の位置定義に関わる測量の技術領域が、高度情報化時代において大きな広がりを見せています。測量技術がこれからの社会の要請に応えるには、空間的広がりを持つ地球上の位置と、それに直接的または間接的に関連付けられる様々な情報を扱う「空間情報技術」として捉えることが必要になっています。

また、空間情報は、データの作成過程を明確にするだけでは調達するのが困難なため、使われ方（要求仕様）と、調達しようとするデータの仕様と品質（製品仕様、品質仕様）を明確にすることが重要です。このことから、空間情報の仕様策定、取得、構築から、システム運用、データのライフサイクルにわたる情報管理など、広範囲な技術を駆使できるスーパーバイザが必要になっています。

このことを背景にして、国土管理に必要な様々な業務を効果的に遂行するため、空間情報分野に関する高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、かつ、空間情報を利活用する要求に対して、問題抽出・分析に基づく要求仕様の策定、製品仕様・品質仕様の策定、運用管理の立案、様々な技術・技術者のコーディネート等の業務を行うに十分な能力を有する者を認定することを目的とします。

2. 求められる要件

空間情報総括監理技術者に求められる要件は、以下のとおりです。

① 要求仕様の策定ができること

行政が事業を行う場合に、現状の課題を発見し、課題の解決に空間情報の適用が有効か否かを判断し、発見された課題を詳しく分析・明確化することにより、業務に必要な空間情報の仕様と空間情報を利用する場合の効果を提示する能力を有すること

② 製品仕様・品質仕様の策定ができること

業務の課題解決に必要なデータやシステムの設計ができること

③ 運用管理計画を立案し、業務を遂行できること

構築された空間情報を継続的に利活用するために、システムとデータの維持管理方法を立案し、様々な技術・技術者をコーディネートして、適切な事業を行うことができること

3. 有資格者の活用

国土交通省（本省）、国土地理院、地方農政局、森林管理局、独立行政法人、（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）および地方公共団体が発注する提案型業務等における評価要素の一つとして有資格者を活用していただいています。さらに今後とも引き続き、より多くの計画（発注）機関に本資格精度を活用していただけるよう、関係機関に働きかけていきます。

4. 受験資格

受験資格は、次のすべての条件を満たすものとします。

- ① 測量士の資格を有すること
- ② 技術士の資格または博士の称号、またはこれらと同等の能力を有すること
- ③ 空間情報関連業務に15年以上従事し、かつ、当該業務の責任者（原則として主任技術者）を2回以上経験していること

5. 認定試験

筆記試験及び面接試験を行い、以下の能力を判定します。

- ① 空間情報技術に関連する知識および経験を有しているか
- ② 空間情報技術の応用力・構想力・提案力・説得力・監理力を有しているか
- ③ 業務を遂行できる人格・責任感・リーダーシップを有しているか

受験資格、願書配布、願書受付、受験料等の詳細内容が決まり次第、機関誌『測量』および当協会ホームページ(<http://www.jsurvey.jp/>)でお知らせします。

[お問い合わせ先]

お問い合わせはEメールにてお願いします

E-mail: geoinfor@jsurvey.jp

担当: 公益社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 測量技術教育部

平成28年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験の実施について

公益社団法人日本測量協会の定款第4条に定める事業のうち、空間情報総括監理技術者の資格認定試験を、次のとおり実施します。

平成28年4月1日

公益社団法人日本測量協会 会長 矢口 彰

1. 試験の実施日時

筆記試験 平成28年7月23日（土）
（試験時間は、別途、受験者に通知）

面接試験 平成28年9月 3日（土）
（時間は筆記試験合格者に通知）

2. 試験の場所 東京都（筆記・面接とも）

3. 受験願書の受付期間

平成28年6月1日（水）から平成28年6月30日（木）まで

4. 受験案内の入手方法及び受験願書の提出先

受験案内の入手方法 当協会のホームページからダウンロード
受験願書の提出先 公益社団法人日本測量協会
測量継続教育センター 測量技術教育部

5. 合格発表

当協会のホームページに掲載（合格者）・本人に結果（合否）を通知
筆記試験 平成28年8月23日（火）
最終合格 平成28年9月 9日（金）

6. その他

受験についての詳細は、当協会のホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

URL: <http://www.jsurvey.jp>

【問い合わせ先】 お問い合わせはEメールにてお願いします

E-mail (geoinfor@jsurvey.jp)

公益社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 測量技術教育部

「空間情報総括監理技術者」資格認定試験年度別合格者一覧

平成17年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	72名 24名 33.3%
平成18年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	43名 24名 55.8%
平成19年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	50名 21名 42%
平成20年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	37名 21名 56.8%
平成21年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	53名 27名 50.9%
平成22年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	67名 25名 40.3%
平成23年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	84名 30名 35.7%
平成24年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	89名 24名 27.0%
平成25年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	93名 24名 25.8%
平成26年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	112名 31名 27.7%
平成27年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	101名 25名 24.8%
平成28年度	■ 応募者 ■ 最終合格者 ◆ 合格率(対・応募者数)	87名 21名 24.1%

国土交通省国土地理院の請負測量業務における競争入札において入札参加者が有する技術的能力の評価を目的とした技術者の認定資格として登録されています。

◆登録対象の測量技術者資格

登録の対象とする測量技術者資格は、国土地理院測量業務請負業者選定事務処理要領第3条に基づく業務種別(基準点測量、写真測量、地図調製又は地理調査)に関連する測量技術者資格とする。

◆測量技術者資格の登録区分

業務種別	区分	測量技術者資格の概要
基準点測量 写真測量 地図調製 地理調査	A	測量計画の立案や工程管理等を適切に行える能力を有し、かつ測量技術に関して高度な知見を有する者を認定
	B	測量計画の立案、工程管理、品質管理等を総合的に適切に行える能力を有する者を認定
	C	測量計画や作業工程に沿って適切に作業を行える等、実務作業の総合的な能力を有する者を認定

◆登録した日本測量協会認定資格の名称(平成23年4月13日登録)

業務種別	区分	測量技術者資格
基準点測量	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 基準点測量1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 基準点測量2級
写真測量	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量1級
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量2級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS2級
地図調製	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS2級
地理調査	A	空間情報総括監理技術者
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量1級
	B	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS1級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 写真測量2級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) GIS2級
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 防災調査
	C	地理空間情報専門技術者(測量専門技術者含む) 環境調査